



郡中学校通信 No29

学校教育目標 「 自ら行動、達成して感動 」
校 訓 「 自主・自律・連帯・創造 」

郡中ビレッジ 美・礼・時

チーム郡 思いを力に!

R3. 12. 7発行 文責 校長 松崎大樹

11月26日(金) 令和3年度 郡中学校合唱コンクール終了! 合唱の素晴らしさ、合唱の力を、改めて認識する一日となりました。

全校生徒のみなさん、これまでの取組、本当にお疲れ様でした。そして、合唱コンクールにおける素敵な歌声、大きな感動をありがとうございました。また、最優秀賞、優秀賞を取ったクラス、指揮者賞を受賞した生徒のみなさん、本当におめでとうございます。

合唱コンクール当日は、多くの保護者の皆様に来校いただき、3年生のみなさんの合唱を始め、全学年の素敵な合唱にふれる中で、確かにコンクールだけに順位は付いてしましますが、全学年、全クラスの合唱はとても素敵なものでした。そして、合唱の素晴らしさ、合唱の力、チームの力を改めて認識する一日となりました。

1年生の、入学してから8ヶ月の成長ぶりを感じさせるはつらつとした歌声。2年生の、郡中の中堅学年としての自覚と、これからの活動に向けて確かな意気込みや思いが感じられた歌声。そして、郡中学校の最高学年として1・2年生を引っ張ってきた3年生の歌声。この3年生が、クラスの仲間や学年全員で取り組む最後の学校行事となるこの合唱コンクールに向けて、これまで頑張ってきた心一つにした歌声は、本当に、郡中学校合唱コンクールを締めくくりにふさわしい立派な合唱だったと思っています。

また、今年度の合唱コンクールには、もう一つ大きな意味がありました。それは、コロナ禍の中、この2年間、私達の教育活動は様々な制限を受けてきて、非日常の学校生活を余儀なくされてきました。それと共に失われた、学年交流の機会。その為、現在の2年生は合唱コンクールで上級生の合唱を一度も見たことがなかったのです。

そこで、来年度から郡中の最上級生として、様々な行事を引っ張っていく2年生には、どうしても3年生が本気で歌う姿を聞かせたいという思いが先生方にはあり、その中で、この郡中の良き伝統をしっかり受け継いでもらい、これからの学校生活の模範を示してもらいたいという願いが、今年度の合唱コンクールには込められていたのです。

その中で、3年生の最上級生としての歌声は、各クラスの団結力や絆の深さ、まっすぐに頑張ることのカッコ良さを2年生全員に発信することができ、そのことをしっかりと受け止めてくれた2年生が多くいてくれたことと思っています。

この郡中合唱コンクールの成果を糧に、3学年とも、今年の締めくくりに向かっていきます。引き続き、保護者の皆様には温かいご支援・ご協力をいただきながら、充実した教育活動に努めてまいります。今後とも、よろしくお願いいたします。



中学生「税についての作文」
コンクールにおいて特別賞を受賞!
おめでとうございます!

12月3日(金)3年生対象
「デートDV防止教室」を実施しました!



国税庁と全国納税貯蓄組合連合会が主催して実施された中学生「税についての作文」において、本校から4名の生徒が特別賞を受賞しました。この4名のそれぞれの作文が、税と身近な生活について、今の社会状況・税の仕組みや自分の経験をもとに、自分の思いや考えを具体的に構成させていたことが高く評価されました。この紙面を借りて紹介させていただきます。

- 長崎県納税貯蓄組合連合会会長賞
3年 川下華凜・3年 稲付夏奈
- 諫早税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞
3年 小佐井奏斗・3年 小森悠叶

12月3日(金)「NPO法人DV防止ながさき」の小松由美子様に講師として来校いただき、下記に示す学校でのDV予防教育の必要性に鑑み、「デートDV防止教室」を本校3年生対象に実施しました。生徒のみなさんがこれから出会うであろう大切なパートナーとの人間関係において、お互いの人権や尊厳を傷つけず、幸せな日々を過ごしてもらうために、本日の講演をしっかりと役立ててもらいたいと思っています。

【DV被害と加害の防止効果】

- ・恋愛によくある行動(嫉妬・束縛等)がDVの要素を持つことに気づき、DV被害を防止する。
- ・加害行為に気づき、振り返る機会を持つ。
- ・暴力以外の方法で、自分の気持ちを伝える方法を知る。

「第73回人権週間」(12/4~12/10)&12/10「世界人権デー」にちなんで郡中の生徒一人一人の人権がしっかり守られるように「お互いを認め合う挨拶」と「いじめられる人の気持ちを考えてみよう!」を掲載しました。ご一読下さい。

その1「お互いの存在を認め合う挨拶」の大切さについて

最近気になることがあります。郡中では、毎朝、私を始め、生徒会の役員と男子バレー部の生徒達が挨拶運動と女子ソフトテニス部の生徒達による清掃活動が行われています。この中でも、挨拶運動には、気持ちの良い挨拶を交わすことで、生徒のみなさんの今日一日のスタートをより良いものにしてもらいたいという願いが込められています。しかしながら、朝の挨拶を「おはようございます。」とかけても、気持ちの良い挨拶が返ってこないことが多くなってきました。また、私や挨拶運動をしている生徒達が「おはようございます。」と声をかけても、何も言わずに素通りしてしまう生徒も出てきています。このままでは、郡中の生徒の良さであった「素直な心や優しさ」というものが次第になくなってしまわないかと本当に心配しています。



おはよう
ございます!

挨拶には、挨拶する側も、挨拶される側も、「心を開いて、お互いの存在を認め合い、尊重し合う。」という大切な意味が込められています。だからこそ、挨拶は、良き人間関係を築く上で一番大切なコミュニケーションの基本になると言われているのでしょう。登下校の際や教室・廊下の校舎中で、素敵な笑顔と共に気持ちの良い挨拶が飛び交うような郡中になると、どんなに素敵な学校になることでしょう。きっとそんな学校になった時、生徒一人一人の存在が温かく認められ、生徒一人一人の安心できる居場所がある、本当の意味での「チーム郡」になれるんだと思います。生徒のみなさんの思いを力にして、気持ちの良い挨拶が飛び交う、素敵な「チーム郡」を改めて創り上げていきましょう。

その2「いじめられている人の気持ちを考えてみよう」について

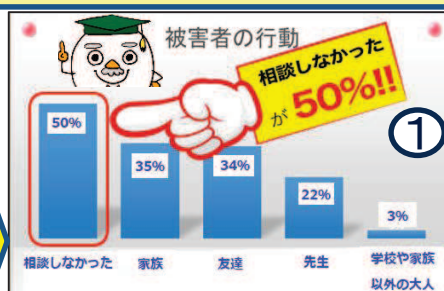
いじめを早期発見するには、いじめられている子が誰かに相談するのが一番良い方法だと思います。

しかし、統計的には教師に相談するのは、7人に1人なのです。

(右図① 相談しなかった50%)

このように、いじめられている子がまだたいしたことではないと思う時は、少々心が傷ついていても「このくらい我慢しよう。」「大げさに騒ぐと、もっと大変なことになる。」と、誰にも相談せず、一人自分の胸の中にしまってしまうのです。

しかし、そこで終わればいいのですが、時には、それがさらにエスカレートします。そうすると、「今さら、人には言えない。」「(右図②)と思い詰ってしまうのです。そういつたいじめられる側の心理について深く考えてみようというのが、今回のテーマのねらいです。



相談しない理由

家族に心遣いかけてたくない
仕返しがこわい
自分にも問題がある
弱さを笑われたくない

では、相談できない、言い返せない、いじめられる子は弱い子なのでしょうか?

それは違います。人は誰でも攻撃され続けると、「弱く」なります。つまり、いじめられる子は、弱い子ではなく、弱い立場に追い込まれている子なのです。

一番弱いのは、人を攻撃することでしか自分を表現できない子、誰かを傷つけることでしか人とつながれない子だと思ふのです。

まとめ

弱い立場に置かれた人が強くなるための条件

- わかってくれる仲間がいるということ
- いじめはまちがっているという確信(=みんなの思い)

しかし、ほんの些細なきっかけで、いじめられる子は強くなります。

たった1人でも、味方がいれればいいのです。それが、1人ではなく、2人、3人と増えれば、強くなるのです。

生徒のみなさんへ

異なる意見や立場、その背景を持つ人々と対話し、お互いがわかり合えるということは、とても時間もかかるし、なかなか簡単なことではないと思います。しかし、だからといって、異なる意見や立場の人々を攻撃したり、排除することは、とても良くないことだと思います。また、その最たるものとしての「いじめ」は絶対に許されることはありません。

生徒のみなさんには、異なる意見や立場の人々とも、たとえ時間がかかろうとも粘り強く話し合い、たとえ同じ意見にならなくても、お互いの意見や立場を理解でき、尊重できる人になってほしいと思います。それは、生徒のみなさんに、様々な考え・立場の人々ともつながることができ、目標や課題を成し遂げるためのチームを築ける人になってほしいからです。また、このことは、これからの時代を生きるための大切な資質・能力でもあると思います。

そして、そんな生徒が増えていった時、郡中学校の生徒一人一人の人権がしっかり守られ、「いじめ」がなくなるのではないのでしょうか…。

校長より